

## 新発田市 平成25年度 第4回定例記者会見

- 1 日 時 平成25年7月8日(月)午後2時
- 2 場 所 3階応接室
- 3 内 容
  - 高齢者運転免許証返納支援事業
  - 空き家バンク登録・売買成立で祝金
  - 中学校被爆体験者講演会及び長岡現地平和学習会
  - 中学生の広島平和記念式典派遣
  - 「しばた平和のつどい」開催
  - うたびとジョイントコンサート
  - サマーフェスティバル2013
  - ふくしまっ子集まれ！第3回新発田臨海学校
  - 湯の平温泉オープン
  - ゴーヤ・アスパラ料理レシピコンテスト出場者募集
  - 観光施設で「夏休み親子体験」参加者募集
  - 第2回婚活イベント「魅力を高めて素敵な出合いを…」
  - 第4回しばた100円商店街
  - めざせ100彩講演会
  - 糖尿病予防講演会
  - 藤塚浜ビーチバレー大会
  - 第33回いきいき作品展
  - 2013夏休みにALTとあそぼう
  - 合唱のつどい
  - あつまれ！山ガール山ボーイ「初級登山講座」
  - 加治川地区公民館ガイド（流しそうめん体験など）

### あいさつ

- 先ず以って、先般、6月26日、名誉市民で人間国宝の天田昭次氏をご逝去されました。報道各紙においては、天田先生のご功績やお人柄を広く伝えていただいたことに感謝します。
- 天田先生は現代の日本刀の最高峰である「政宗賞」を3度も受

賞する偉業を達成されましたが、とても柔和で温厚なお人柄で、現代の「良寛さま」と例える方もいるほど素晴らしい方でした。

- ここに改めて、先生のご逝去を悼み、心から哀悼の意を表したいと思います。
- 新発田市では、名誉市民である天田先生の功績を讃え、市民皆で追悼する「お別れの会」を8月5日（月）に新発田市民文化会館で行います。現在、詳細を詰めているので、内容が固まった際に、改めてお知らせいたします。

- 話は変わりますが、こちらも報道各紙で既にご紹介いただいた話題となりますが、当市保険年金課の出来島桃子主任が、来年3月に開催されるソチ冬季パラリンピックの日本代表に内定されました。

- 3大会連続の出場となり、これまでもクロスカントリー女子リレーで入賞するなどの活躍をしておりますが、ソチ大会では更なる上位を目指して大活躍して欲しいと期待しています。

- 当市役所としても、大会に向けた強化試合や強化合宿に専念できるよう、職場の中で協力体制による負担軽減など、可能な限りの支援を行ってまいります。

- また、大会出場直前には、庁舎ロビーで壮行激励会を行いたいと考えていますので、その際には取材をお願いします。

- 先月、子宮頸がんワクチン接種に関して、厚生労働省は副反応（副作用）の懸念から当面の間、「ワクチン接種を積極的には勧奨しない」との見解を示しました。

- これを受けて、当市としての対応状況を説明します。資料も用意してありますので、ご覧願います。

- 新発田市は、平成22年度に市民のがん予防対策として、子宮頸がんワクチン接種に対して、国の補助事業に先駆けて10月から接種費用の全額補助を開始しました。
- 各学校単位で健康教育を実施し、対象者に接種の呼びかけを行ってきたところです。
- 平成23年1月に国のワクチン接種緊急促進事業となっても、引き続き接種を推奨し、平均90%以上の高い実施率となっています。
- 副反応報告は、医療機関から市に対する連絡体制をとっております。これまでの2年8カ月で、2,652人が延べ7,737回の接種を受けましたが、重篤、軽微のいずれの副反応報告は受けていません。
- 今回の国から通知を受け、本市としても積極的な接種勧奨を行わないことを医療機関に周知し、対象者への説明をお願いしました。市のホームページでも、国からの情報を掲載して周知に努めています。
- また、3回の接種を終えていない対象者（629人）には、勧奨差し控えについて、7月2日付けで個人通知を行ったところです。
- 個人通知を行った629人の中で、接種希望のある方（2回目、3回目の接種希望者）への対応については、今後の国からの通知を受けて随時ホームページ等で周知を図りたい。
- いずれにしても、国の対応を速やかに示してもらい、市民の不安と心配を取り払いたいものである。

それでは、会見項目の説明とします。

## 最初に「高齢者運転免許証返納支援事業」について

- 高齢者の交通安全対策の一環として、高齢者の自主的な運転免許証返納を促す事業を7月1日から始めました。今年度、初めて実施する事業となります。
- 市内に住所を有する65歳以上の方で、この4月以降運転免許を自主返納した方、更新申請をせずに失効した方を対象に、新たな交通手段として、コミュニティバス・市街地循環バス回数利用券、路線バス回数券、タクシー券、市内の専門店で利用できるお買い物券(各5千円相当)の中から一点を差し上げます。
- その他に、写真付き住民基本台帳カード(通称:住基カード)の初回交付にかかる手数料を免除します。
- 新発田署管内の人数になりますが、現在、65歳以上の方は約1万5千人おられるようです。65歳はまだまだ若い年齢と思われるかもしれませんが、高齢者の交通事故防止・交通安全として、運転に自身の無い方には、是非ご協力をお願いしたいと考えています。

## 次に「空き家バンク登録・売買成立で祝金」について

- 5月の記者会見で説明させていただいた「定住化促進事業」のその後の状況について、お知らせします。
- まず、空き家バンク制度祝金の補助についてです。
- 空き家を登録し、その物件の売却できた場合、売却者に5万円を、購入者が市外の方であれば、その方に10万円、市内の方であれば5万円を祝金として差し上げるものです。
- 6月10日から登録受付を始め、現在2件を登録したところです。
- 8月1日から市ホームページにて、空き家物件の情報を公開する予定にしています。まだまだ、空き家の登録が少なく、ホームページ公開までにもっと多くの物件を掲載したいと思っています。

- ぜひ、空き家の所有者の方に登録を呼びかけていただけるよう記事にさせていただきたいです。
- 併せて「住宅取得補助金」も同時に募集しています。
- 市街地中心部に住宅を新築または住宅を購入する方を対象に補助金を交付するものです。
- 多くの方から問い合わせをいただいているようですが、残念ながら対象地域以外での物件に関するものが大半であるようです。
- 補助金の交付が決まったのは、1件（140万円）です。
- 住宅の新築や購入を考えている方には、とても有利な制度でありますので、ぜひ活用していただきたいです。また、空き家バンク制度も併せて活用することができれば、祝い金も上乗せできるので、さらに魅力に感じていただけたらと思います。

### **次に「平和関連の3事業」について**

- まず、「中学校被爆体験者講演会及び長岡現地平和学習会」です。
- 平和学習の一環として、市内中学生を対象に被爆体験者の講演会と空襲の被害が大きかった長岡市での現地平和学習会を行うものです。
- 7月10日（水）に市立紫雲寺中学校で、翌11日（木）に市立本丸中学校で、新潟県原爆被害者の会の山内悦子事務局長からの講演を聞くことにしています。
- また、7月25日（木）には、市内の各中学校から生徒2名（計20名）が長岡戦災資料館などに出向いて平和学習を行います。
  
- 次に、「中学生の広島平和記念式典派遣」についてです。
- 広島市で原爆投下のあった8月6日に、毎年開催される「広島平和記念式典」に市内中学校から各1名（計10名）を派遣するも

のです。国際平和に寄与する人材を育成するためのものです。

- 派遣した生徒からは、感想文を提出してもらい9月17日号の「広報しばた」に掲載することになっています。
- また、「エフエムしばた」で生徒の感想を収録し、9月13日(金)に放送する予定になっています。
  
- 3つ目は、「しばた平和のつどい」です。
- 8月4日(日)に市生涯学習センターで、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを多くの市民に知ってもらうために開催するものです。
- 第1部では、前述の広島平和記念式典に昨年参加した生徒による感想などを発表してもらい、第2部では、大林宣彦監督が長岡市を舞台に空襲と平和について描いた映画「この空の花―長岡花火物語」のブルーレイディスクによる上映を行います。
- これに併せて、「原爆パネル・ぬり絵展」を8月4日から12日まで同所で開催します。
- 平成9年に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、平成22年には「新発田市核兵器廃絶平和推進基本条例」を制定した新発田市が、世界平和を願い実施する事業です。多くの方に参加していただき、平和について考えていただきたいものです。

このほかは、新発田市出身アーティストによる「うたびとジョイントコンサート」、商店街での夜間イベントの「サマーフェスティバル2013」、福島の子どもたちが藤塚浜で行う「第3回新発田臨海学校」、登山者を癒す秘湯「湯の平温泉オープン」、グリーンカーテン作りの拡大を狙った「ゴーヤ・アスパラ料理レシピコンテスト出場者募集」などの情報です。

是非、記事に取り上げていただき、PRをお願いします。

## 定例記者会見質疑応答概要

### 駅前複合施設について

朝日 駅前複合施設は、どのようなスケジュールで進んでいるのか。

市長 一昨日、生涯学習センターで、中心市街地活性化セミナーを開催し約60人の参加者があった。いろいろと意見を頂戴したと聞いている。頂戴した意見を精査し、これから行うパブリックコメントでも市民の皆様の見聞を聞きたいと思っている。スケジュール的にはタイトであるが、駅前複合施設については、相当以前から議会に請願を受けている課題でもあり、しっかりとしたものにして行きたいと思っている。スケジュールについては、今は用意していないので、担当である企画政策課に確認いただきたい。

朝日 関連して、商工会議所が駅前に移転しないとのことであるが、駅前複合施設の建設に影響あるのか。

市長 影響はないと思っている。商工会議所の会頭と意見が一致しているのは、中心市街地活性化は、新発田の顔づくりであり、一緒に顔づくりをやろうということである。商工会議所も、その一翼を担いたいとのことである。駅前に移転すること以外のところで、顔づくりに協力していただけると聞いている。平成28年には市役所が新庁舎に移転するが、それに併せてまちづくりをやって行くことに意見が一致しているところである。これまで、行政と商工会議所、NPOの3者で協議していたものが、行政と商工会議所、行政とNPOの2つで協議することになるということである。

朝日 商工会議所は、将来に借金を残さないという理由で駅前移転を断念したと聞いている。それに対してどう思うか。

市長 会員に新たな負担を求めない、間借りはしない、といった意見が協議の場であったように聞いている。しかし、新しいまちづくりへの情熱や意欲は変わりなく、むしろ、新しい展開に期待をしているところである。

## 故天田昭次氏のお別れの会について

日報 冒頭あいさつで、故天田昭次氏の「お別れの会」を行うとの話があったが、8月5日開催の日程は確定なのか。

市長 過去に事例らしい事例がないので、他の状況も踏まえ、市民文化会館で市民等の利用に支障にならずに執り行える日程とした。8月5日で確定である。

日報 どの程度の規模のものを計画しているのか。

市長 市民文化会館の大ホールの定員は約1千人であるが、献花などに必要なスペースを確保すると、最大で900人程度とならざるを得ない。直接的には、600人程度の方に参列の声を掛けさせていただき、その他に広く市民の皆様にも参列をいただきたいと考えているところである。

日報 献花を行うのか。

市長 「お別れの会」というスタイルを執り、宗教色を廃した献花を行う方式を検討しているところである。

産経 開催時間は確定していないのか。

市長 まだ確定ではないが、遠方からの参列者も想定できるので、午後からの開催となると考えている。午後2時から始めて、1時間30分から2時間程度の時間を見込んでいます。詳細が固まった時点で、改めて情報提供していきたい。

## 東京電力が県に原発再稼働を申し出た件について

毎日 先日、東京電力社長が県知事を訪ねて、原発再稼働をしたいと申し出た件を、どのように思うか。

市長 直接関係する柏崎市、刈羽村の対応もあり、新発田市長として現在コメントできる立場にはない。しかし、東京電力が地元の話なく、国に原発再稼働の申請を行おうすることは、地方に対する配慮に欠けているように思う。



産経 今日見送った国への原発再稼働申請を、明日にも東京電力が行おうと決定しているようだが、どのように思うか。

市長 前述のとおりであるが、国への申請の前には、安全協定による地方の了解を得るルールがあったようだが、そのルールを破ることに憂慮している。一連の動きには注目していきたいと思っている。

### **参議院議員選挙について**

読売 7月20日に参議院議員選挙を控えるが、注目している点などを聞かせて欲しい。

市長 まずは景気対策において、良い方向に向かって欲しいと思っている。アベノミクスで景気が上向いていると言うが、地方では好景気の実感できていない。

国会のねじれ現象により、地方に与える影響が大きい。例えば、ねじれ現象により、暫定予算となったため、当市の住宅リフォーム助成事業に影響があり、募集時に市民の皆様にご迷惑を掛けてしまった。暫定予算により、募集を2回に分けざるを得なかったが、1回の募集であれば、申込件数に対応できていたものである。

国会のこととはいえ、実は地方の行政活動にも大きく響くものである。その観点からすれば、速やかな国の予算執行ができることを願うものである。

### **子宮頸がんワクチン接種を勧奨しない件について**

朝日 3回の接種を受けていない629人の中で、2回目、3回目の接種を希望している人数は几人か。

市長 まだ、確認は行っていない。接種を勧奨しないという現状について、対象者に個人通知を行ったばかりである。早く国の対応を示してもらいたいですが、当市において、副反応を示した方がいないことにほっとしているところである。

## 湯の平温泉オープンについて

日報 湯の平温泉利用者向けにピストンバスなどを運行させる考えはないか。

市長 いろいろ考えているが、警察署や営林署の許可も必要になる。一般車両もすべて可能とすると問題が多いようだ。胎内市が行っているワゴン車を使用した方法もある。警察署や営林署とも協議していきたいと考えているところである。特に首都圏の山ガール、山ボーイを取り込むには打ってつけの場所であり、このまま放って置くのはもったいない。何とか方法を考えていきたいと思っている。もし、事故が起こった場合には、どうしても管理責任を問われることになる。自己責任であるとの意見もあるが、そうはいかないので、警察署、営林署も慎重にならざるを得ないものである。

## 高齢者運転免許証返納支援事業について

産経 県内で同様の取り組みをしているところはあるのか。

市長 当市は、むしろ遅く取り組んだ方である。県内でも約半数の市で実施している。